

わいわい文庫利用調査及び寄贈希望確認のお願い

拝啓

向暑の候、皆様には益々ご清栄のことと、お慶び申し上げます。

平素より当財団の障害がある子どもたちへの読書支援事業にご理解をいただき、感謝申し上げます。

さて、昨年度の「わいわい文庫」利用アンケートに基づき、公共図書館における利用状況のフォローアップ調査を致したく連絡を差し上げました。

誠に恐縮ですが、障害者サービス担当、もしくはわいわい文庫担当の方がご回答をお願い申し上げます。

さて、当財団の電子図書普及事業も、おかげさまで開設以来 10 年目を迎えることができました。昨年度は配布数が 1300 か所を超え、障害がある子どもたちの読書環境向上を目指す私たちとしましては、皆様からご希望を頂くことは歓迎すべきことであります。しかし目的を達成するためには数だけで評価することはできず、利用実態を知り、課題を把握し、より利用が容易になるよう改善に努めていく必要があります。

これまで、活用状況調査の方法として、受領証に付随するアンケートを実施しておりましたが、昨年度図書館から届いたアンケートでは、月間の利用数 0 回、また白紙回答も多く、約 3/4 の図書館の利用状況が把握できない状況です。

ただし、年間の利用数が 10 回未満であり、月単位に換算すると 0 回になるとの回答など、利用実態が記載しにくい設問もありました。そこで、改めて本調査を実施することにいたしました。

図書館は地域の読書の拠点であり、障害者サービスを担当していらっしゃいます皆様からご意見を頂戴し、これからの事業改善につなげてまいる所存です。

お忙しい所恐縮ですが、9月末日までに FAX もしくは電子メールでご回答を頂きますよう お願い申し上げます。

また、誠に勝手ではございますが、本アンケートへの未回答、白紙回答の場合、来年度の配布を停止する場合がありますので、ご了承ください。

質問紙は、当財団ホームページ上 (<https://www.itc-zaidan.or.jp> 「図書館における利用調査のお願い」) にも掲載しています。

今後とも当財団の「電子図書普及事業」ならびに「助成事業」へご理解とご支援をお願い致します。

敬具

公益財団法人伊藤忠記念財団

事務局長 石田 三也

事業担当 矢部 剛

〒107-0061 東京都港区北青山 2-5-1

電話 03(3497)2652

FAX 03(3470)3517

Emai bf-book@itc-zaidan.or.jp

図書館における利用調査

障害者サービス担当、またはわいわい文庫管理担当の方がお答えください。

図書館名:	電話:
わいわい文庫担当部署名	担当者名:

1. これまでに、わいわい文庫を利用したことがありますか ある ・ ない
2. わいわい文庫の1年間のおおよその利用回数(閲覧・貸し出し・イベント等での利用など全て)をお知らせください。
〔 〕 回程度 うち貸し出しは〔 〕 回程度
3. どのような時に利用されましたか
 閲覧用端末の設置、館内閲覧 個人への紹介、貸し出し 学校等団体への紹介、貸出
 利用者への体験や展示イベント おはなし会
 研修会〔対象： 〕
 その他〔 〕
4. わいわい文庫以外のマルチメディア DAISY 図書の所蔵は
 あり〔 作品程度〕 ・ なし
5. 図書館で行っている普及活動についてお知らせください
 わいわい文庫の分冊 タブレット等の端末に入れて貸し出し ポスターや案内の作成
 書影ポスターの掲示 わいわい文庫活用術の閲覧・貸し出し
 その他〔 〕
6. わいわい文庫の効果や改善点など、ご自由にご意見をお書きください。
〔 〕
7. 今後財団へ期待する活動がありましたら、ご自由にお書きください。
〔 〕
- 来年度もわいわい文庫の寄贈を希望する

ご協力、ありがとうございました